

個人と社会のウェルビーイングの実現 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び

ありたい姿	現状と課題	実現に向けた取組
<p>1</p> <p>子どもたちが学校等でやりたいことを実現できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもたちが主体的・対話的に学ぶことができる環境が整備されていない</li> <li>■子どもたちが先生と向き合う時間が不足している</li> <li>■「好き」「楽しい」「なぜ」をとことん追求することについて、保護者・地域などからの理解・協力がなかなか得られない</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①子どもの興味・関心や実態に応じた指導内容の精選と重点化</li> <li>②学校（国立・公立・私立など）内外の先進的な取組事例の発信と共有</li> <li>③特色ある教育実践や学校づくりに対する支援の拡充（継続的な取組を後押しする予算の拡充、研究者・伴走者の派遣と協働）</li> </ol>
<p>2</p> <p>教員が学校等でチャレンジしたいことを実現できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事務量の多さと多忙感により時間的・精神的な余裕がなく、余白がない</li> <li>■戦略的な管理職の育成が行われていない</li> <li>■学校組織のマネジメント力が発揮されていない</li> <li>■外部人材の活用が進んでいない</li> <li>■保護者との良好な関係づくりが進められていない</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校・教員の業務の見直しや学校行事の精選</li> <li>②大学等と連携した管理職育成</li> <li>③公募方式による管理職等の採用</li> <li>④学校改革や教職員の学びに伴走支援する専門組織の新設</li> <li>⑤学校・教員によるチャレンジに対する寛容な地域社会づくりの推進</li> </ol>
<p>3</p> <p>多様性の時代に即した入試制度になっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分の興味・関心を深める学びや自分の強みを伸ばしていく学びと、入試制度の整合性がとれていない</li> <li>■多様な学びに対応した評価のあり方が検討されていない</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自分の強みや得意な分野を活かしてチャレンジできる入試制度の検討</li> <li>②探究活動の深化を後押しする入試制度の検討</li> <li>③多様な学びを積極的に評価していく入試制度の検討</li> </ol>

個人と社会のウェルビーイングの実現 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び

ありたい姿

現状と課題

実現に向けた取組

4

小規模校ならではの  
特色ある学びが  
実現できている

- 人口減少社会における学びの場の確保や質の維持・向上のあり方の検討が急務となっている
- 小規模校の学びを支える人材の発掘・育成の仕組みが整備されていない
- 学校間、自治体間等の連携・協働が進んでいない

- ①小規模校や複式学級での柔軟な取組を後押しする教員の配置・研修
- ②小規模校間、自治体間のネットワーク化による単位互換・授業の受講
- ③地域・社会資源を最大限に活用したカリキュラム・学びの機会の実現
- ④教育行政の広域化の検討

5

「こどもまんなか社会」  
の実現に向けて  
様々な機関が  
連携・協働している

- 学校と学校外の関係者の対話の場・機会が不足している
- 多様な学びに関する情報にアクセスできる環境が整備されていない
- 関係諸機関の連携を促進するコーディネート人材が不足している

- ①学校とフリースクール等の情報共有・意見交換の機会の創出
- ②フリースクール等関係諸機関と学校の日常的な人事交流・連携の推進
- ③公立、私立、学校外が連携した人事交流、学び合いの推進
- ④学校と自治体・企業の研究機関等の連携・協働

6

多様な学びの場を  
信州全体で  
支えている

- 子どもが抱える困難の多様化・複雑化に対する理解が進んでない
- 学校だけに責任を追及しない社会の寛容さが醸成されていない

- ①学校外の多様な学びの場に対する理解の促進
- ②「学校に行けない」ことに対する価値観の促え直し
- ③子どもが安心して学ぶことができる学校内外の学びの選択肢・機会の創出

# ありたい姿を実現するための「取り組むべき方向性」 （事務局案）

1

ま

学びの主人公を  
「子ども」に

- ・一人ひとりの「好き」「楽しい」「なぜ」を追求する学びの後押しをしていきましょう！
- ・モデルとなる学びを広く共有していきましょう！
- ・中山間地域の学びを充実させていきましょう！
- ・多様な学びを共に支えていく仕組みづくりを進めていきましょう！

2

な

長野県の学校・先生の  
チャレンジを支える

- ・持続可能な学びを表現していくために働き方改革を進めていきましょう！
- ・学校の先生・支援人材の採用・配置・異動のあり方を検討していきましょう！
- ・先生・支援人材の学びを支えていきましょう！
- ・「次世代の先生」を共に支えていきましょう！

3

び

ビジョンをもとに  
つながり、広げる

## ◎学校外の学び

- ・子どもが安心して学べる機会を保障していきましょう！
- ・関係者同士（保護者・こども・運営者・教員）の対話を通じて、多様な学びに対する理解を深めていきましょう！
- ・学校・行政・民間で子どもの学びを支えていく仕組みづくりを進めていきましょう！

## ◎地域

- ・地域で学校を支えていく仕組みづくりを進めていきましょう！
- ・地域・社会資源を学びに活用していきましょう！
- ・自治体・企業・研究機関等の連携・協働により特色ある取組を進めていきましょう！

## ◎信州全体

- ・市町村という行政区域を超えて地域・社会資源を共有し、学びの質を向上させていきましょう！